

目次

第1部 社会調査実習報告書（3年生）

○子ども食堂調査票（運営者・団体向け）	7
○子ども食堂調査票（利用者向け）	19
○子ども食堂調査票（子ども向け）	22
1. 子ども食堂をめぐる運営者の思いと利用者のニーズのずれ：子ども食堂の活動と利用者のニーズに焦点をあてて	益田隼汰……………24
2. 宗教と子ども食堂：偏見を持たれやすい宗教	川添由貴……………33
3. 子ども食堂を取り巻くリスク対策：愛知県の子ども食堂へのアンケート調査から	西尾雛……………43
4. 子ども食堂ボランティアがもつ現代社会における意義：西福寺おかげさま食堂運営者調査から	川幡圭輝……………50
5. 子ども食堂の利用者が求めるもの：食事、体験と季節イベントに着目して	青山洋唯……………62
6. 子どもが参加しやすい子ども食堂になるには：レクリエーションとボランティア体験を中心に	生田鈴乃……………70
7. 子ども食堂の開催頻度を増やすには：開催頻度の多い子ども食堂と少ない子ども食堂	近藤史都……………86
8. 利用者から見る子ども食堂	篠田和香奈……………89
9. 子ども食堂が大人と子どもの居場所になるためには：子ども食堂の定着率の増加と新規の参加者を増やすために	芝田悠人……………93
10. 子ども食堂の“居場所”としての意味：非団欒世代の現代	竹腰晃太……………100
11. 子ども食堂と学校をより連携させるには：学校との連携の有無による子ども食堂の比較	恒川幸平……………105
12. 子ども食堂のあるべき姿：愛知県内の子ども食堂調査で見えたこと	林鷹一……………110
13. レクリエーションが子ども食堂にもたらす影響：地域の居場所になるために	福家雅稀……………119
14. 子ども食堂の意義：「見守り」という役割	御宿智也……………125

第2部 コミュニティ学演習（2年生）

15. 乳幼児・児童期の貧困の影響：影響を最小限にするために必要な支援は何か	秋山妙……………133
16. 子どもの教育の現状：貧困の連鎖から脱するためには	足立有里佳……………143

17. 子どもの貧困・虐待を自分の問題として受け入れるためには：いかに世間に広めるか
飯塚直人……………150
18. 居場所とつながり：親と子のコミュニティ
大畑伸太郎……………159
19. どうしたら教育格差を縮められるのか：現金給付と現物給付からのアプローチ
奥野貴大……………167
20. 貧困家庭の子どもの学力向上に向けて：学習支援という存在を活かす
北澤彩可……………179
21. ひとり親世帯について：母子世帯の貧困と男女格差
黒岡宥菜……………187
22. 子どもの貧困対策：親への支援と子ども食堂
清水優花……………203
23. 貧困問題と投資：フィンランドの比較と子育てへの姿勢
志水優策……………219
24. 子どもの貧困から考えるコミュニケーション：家族の大切さを知る
杉岡采音……………227
25. 放課後格差の是正：子どもの居場所づくり
舌古達郎……………235
26. 食が貧困状態を変える：子どもが当たり前で食事できるようにするためにすべきこと
平本駿介……………245

第3部 演習Ⅲ（4年生）

27. 子ども食堂の地域的偏在を規定する要因：困窮度、都市度、ネットワークの比較から
山下椋平……………259
28. 参加者の評価とボランティアスタッフの思いから再考する子ども食堂の機能：わいわい子ども食堂参加者への調査から
最上紘衣……………278
29. 子ども食堂の現状：平田寺子ども食堂と天白子ども食堂
岡本敦希……………306
30. 子ども食堂とスティグマとの対峙：マンナ MANNA 子ども食堂の取り組みから得たこと
坂田堇……………316
31. 参加者ができる経験は何か：ほんわか食堂へのボランティア活動を通じて私が作りたい子ども食堂
小島里央……………324
32. 参加者と参加の仕方に着目した子ども食堂：みんなのご飯食堂、くろかわ子ども食堂
水谷直斗……………334
33. 子ども食堂継続のためにできること：大府ふれあい子ども食堂の経験から
杉浦仁美……………343
34. 子どもの貧困と子ども食堂：2つの子ども食堂の比較
増田千栄……………355
35. 子ども食堂が構築する地域コミュニティ：みずほみんなの食堂の活動を辿って
明美佐季……………378
36. あいち子ども食堂ネットワークと子ども食堂の特徴と今後の課題について：日進絆子ども食堂の参加記録とNPO、貧困対策としての観点から
齊藤新……………387

Q3 貴団体の運営形態として当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 自治体の直営 | 2. 自治体からの委託 |
| 3. 社会福祉協議会の直営 | 4. 社会福祉協議会からの委託 |
| 5. 独立した法人等による運営 | 6. 個人 |



Q4 上記（Q3）で「5. 独立した法人等による運営」を選んだ方に伺います。法人格として当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 任意団体 | 2. NPO 法人 | 3. 一般社団法人 |
| 4. 社会福祉法人 | 5. 宗教法人 | 6. 企業 |
| 7. その他（ | | ） |

Q5 貴団体では、子ども食堂以外に、こういった分野での活動をされていますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

- | | | |
|-----------------------|-------------------|---------------|
| 1. 児童福祉 | 2. 保育・幼児教育 | 3. 子育て支援 |
| 4. 子供会等の地域活動 | 5. プレイパーク | 6. ボーイスカウト |
| 7. 学習支援 | 8. 高齢者福祉（介護福祉施設等） | |
| 9. 障害者福祉（障害福祉施設、作業所等） | | |
| 10. 商店・スーパー経営 | 11. 飲食店経営 | 12. 農林・水産・畜産業 |
| 13. その他（ | | ） |
| 14. 子供食堂のみ | | |

■ 貴団体が運営している子ども食堂の活動についてお伺いします。

Q6 夏休み子ども食堂の開催頻度はどの程度ですか。当てはまるものを1つお選び下さい。

- | | | |
|------------|-------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週 1～2回程度 | 3. 2週間に 1 回程度 |
| 4. 月 1 回程度 | 5. 数か月に一回程度 | 6. 不定期 |
| 7. 通常と同 | | |

Q7 子ども食堂の参加費についてご回答下さい。

子ども（ 才～ 才）：1. 無料 2. 有料 ⇒ （ ）円

大人：1. 無料 2. 有料 ⇒ （ ）円

Q8 子ども食堂の対象者について当てはまるものを1つお選び下さい。

1. 生活困窮家庭の子供 2. 子供なら誰でも
3. 子供以外を含めて誰でも 4. その他（ ）

Q9 子ども食堂の参加対象年齢として当てはまるものを全てお選び下さい。

1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生 4. 高校生 5. 子供に付き添う親
6. 高齢者 7. それ以外の大人（18歳以上）

Q10 子ども食堂の開催告知方法として、使用している手段を全てお選び下さい。

1. 貴団体のウェブサイト 2. SNS 3. 地域の 掲示板
4. チラシ配布 5. ポスター掲示
6. 関係者や参加したことがある人にメール
7. その他（ ）

Q11 子ども食堂を運営するスタッフの募集方法として、使用している手段を全てお選び下さい。

1. 貴団体のウェブサイト 2. SNS 3. 地域の 掲示板
4. チラシ配布 5. ポスター掲示
6. 関係者や参加したことがある人にメール
7. その他（ ）

Q12 これまでの1回あたりの参加人数（スタッフを除く）は、平均してどの程度ですか。子どもと大人に分けてお答え下さい。

子ども ： （ ）人

大人 ： （ ）人

Q13 これまでの1回あたりのスタッフの人数は、平均してどの程度ですか。
()人

Q14 運営にあたり、スタッフの数は足りていますか。
当てはまるものを1つお選び下さい。

1. だいたい足りている 2. 開催回による 3. 不足している

Q15 過去 1 年間の子ども食堂の運営費はどの程度ですか。

当てはまるものを1つお選び下さい。活動期間が 1 年未満の場合は、1 年間に換算した金額をお答え下さい。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1) 5 万円未満 | 2) 5 万円～10 万円未満 |
| 3) 10 万円～30 万円未満 | 4) 30 万円～50 万円未満 |
| 5) 50 万円～100 万円未満 | 6) 100 万円以上 |

Q16 過去 1 年以内に、運営費に寄付や助成金以外の持出しをあてた経験はありますか。
当てはまるものを1つお選び下さい。

1. あてたことがある 2. あてたことはない

Q17 子ども食堂の開催会場は有償ですか、無償ですか。

1. 有償 2. 無償

Q18 子ども食堂の主な活動目的として意識していることはなんですか。

下記の各項目について、「とても意識している」から「まったく意識していない」の中から当てはまるものを1つお選び下さい。

	選択肢（それぞれ1つに○）			
	とても意識している	どちらかといえば意識している	どちらかといえば意識していない	まったく意識していない
1) 生活困窮家庭の子どもへの食事支援	1	2	3	4
2) 生活困窮家庭の子どもの地域での居場所づくり	1	2	3	4
3) 多様な子どもたちの地域での居場所づくり	1	2	3	4
4) 高齢者や障害者を含む多様な地域の人との共食の場の提供	1	2	3	4
5) 子どもたちにマナーや食文化、食事や栄養の大切さを伝えること	1	2	3	4
6) 子育てに住民が関わる地域づくり	1	2	3	4
7) 学習支援	1	2	3	4
8) その他 ()	1	2	3	4

Q23 子ども食堂の運営に際して、活用している助成制度はありますか。

あれば、活用している助成制度の運営主体として、該当するものを全てお選び下さい。
ただし、行政には外郭団体も含むこととします。

- | | | |
|-----------------|---------|--------|
| 1. 市区町村 | 2. 都道府県 | 3. 国 |
| 4. 社会福祉協議会 | 5. 民間 | 6. その他 |
| 7. 助成制度は活用していない | | |

Q24 上記（Q23）で「7. 助成制度は活用していない」以外を選んだ方に伺います。

具体的に、どのような助成制度を活用していますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

1. 子どもの未来応援基金
2. 子どもゆめ基金
3. 子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
4. 赤い羽根共同募金
5. その他

（ ）

■ 子供食堂の安全管理についてお伺いします。

Q25 保健所への許可・届出の状況として、当てはまるものを1つお選び下さい。

1. 営業許可を得ている
2. 届出を行っている
3. 相談したが許可／届出が不要とされた
4. その他（
5. 相談していない

）

Q26 子ども食堂の衛生面の管理に関する知識を持った人はいますか。当てはまるものを全てをお選び下さい。

1. 食品衛生責任者
2. 管理栄養士・栄養士
3. 調理師
4. その他（
5. 該当者はいない

）

注1：食品衛生責任者の資格は、都道府県等養成講習会を受講することにより、取得が可能です。

Q23 子ども食堂の運営に際して、活用している助成制度はありますか。

あれば、活用している助成制度の運営主体として、該当するものを全てお選び下さい。
ただし、行政には外郭団体も含むこととします。

- | | | |
|-----------------|---------|--------|
| 1. 市区町村 | 2. 都道府県 | 3. 国 |
| 4. 社会福祉協議会 | 5. 民間 | 6. その他 |
| 7. 助成制度は活用していない | | |

Q24 上記（Q23）で「7. 助成制度は活用していない」以外を選んだ方に伺います。

具体的に、どのような助成制度を活用していますか。当てはまるものを全てお選び下さい。

1. 子どもの未来応援基金
2. 子どもゆめ基金
3. 子どもの生活・学習支援事業（居場所づくり）
4. 赤い羽根共同募金
5. その他

（ ）

■ 子供食堂の安全管理についてお伺いします。

Q25 保健所への許可・届出の状況として、当てはまるものを1つお選び下さい。

1. 営業許可を得ている
2. 届出を行っている
3. 相談したが許可／届出が不要とされた
4. その他（
5. 相談していない

）

Q26 子ども食堂の衛生面の管理に関する知識を持った人はいますか。当てはまるものを全てをお選び下さい。

1. 食品衛生責任者
2. 管理栄養士・栄養士
3. 調理師
4. その他（
5. 該当者はいない

）

注1：食品衛生責任者の資格は、都道府県等養成講習会を受講することにより、取得が可能です。

Q27 食物アレルギーについて、どのように対応していますか。

当てはまるものを全てお選び下さい。

1. あらかじめ代表的なアレルゲン食品を除いたメニューを全員に提供している
2. 食物アレルギーを持つ参加者に対し、アレルゲン食品を除いた別メニューを提供している
3. 献立に使用している全ての食材を明記して注意を促している
4. 参加者の緊急連絡先を把握している
5. その他 ()
6. 特に対応を取っていない

Q28 子供の食物アレルギーの有無について、どのような方法で把握を行っていますか。

当てはまるものを全てお選び下さい。

1. 参加申込時に申告してもらう
2. 当日、参加者本人（子供）に申告してもらう
3. 参加者の保護者になんらかの形で確認をとる
4. 特に把握を行っていない
5. その他 ()

Q29 子ども食堂の運営にあたり、こういった保険に加入していますか。

当てはまるもの全てをお選び下さい。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 社会福祉協議会のボランティア保険 | 2. 民間の行事保険 |
| 3. その他の保険 | 4. 加入していない |

■ 貴団体が子供食堂の活動にあたって感じている課題についてお伺いします。

Q30 現在、運営にあたり感じている課題は何ですか。

Q31 地域に根付かせる為にやっていることは何かありますか。

Q32 今まで受けた、受けている支援の中で良かったことは何ですか。

Q33 食中毒対策としてしていることはありますか。

子ども食堂の利用に関するアンケート調査

中京大学 現代社会学部 成ゼミ3年一同

問1 あなたの性別について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1.男性 | 2.女性 |
|------|------|

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 1.20～24 歳 | 2.25 歳～29 歳 | 3.30～34 歳 | 4.35～39 歳 |
| 5.40～44 歳 | 6.45～49 歳 | 7.50～54 歳 | 8.それ以外（ ） 歳 |

問3 あなたの住まいについて、あてはまるもの1つに○をつけ、() 内をお答えください。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1.名古屋市（ ）区（ ）学区 | 2.名古屋市以外（ ）市（ ）区（ ）学区 |
|-----------------|-----------------------|

問4 子ども食堂への参加頻度について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1.ほとんど毎回 | 2.二か月に一回程度 | 3.半年に一回程度 |
| 4.一年に一回程度 | 5.今回が初めて | 6.その他（具体的に ） |

問5 一緒に参加していらっしゃるお子さまの学年年齢についてあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1.未就学（ ） 歳 | 2.小学校 1 年生 | 3.小学校 2 年生 |
| 4.小学校 3 年生 | 5.小学校 4 年生 | 6.小学校 5 年生 |
| 7.小学校 6 年生 | 8.中学生以上 | |

問6 どのような経緯で今の子ども食堂を知りましたか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| 1.チラシやポスター | 2.子ども食堂の SNS | 3.新聞・テレビ・雑誌等 |
| 4.講演会・セミナー | 5.インターネット情報 | 6.機関紙 |
| 7.友人・知人の紹介 | 8.子ども食堂スタッフの紹介 | |
| 9.その他（具体的に ） | | |

問7 子ども食堂で現在行っていることで、今後さらに充実させてほしいことについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|---------------|--------------------|
| 1.食事 | 2.食前のレクリエーション | 3.食後のレクリエーション |
| 4.お土産 | 5.季節のイベント企画 | 6.体験イベント（レンコン掘りなど） |
| 7.その他（具体的に ） | | 8.特にない |

問8 参加費について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください

- | | |
|-------------|--------------|
| 1.満足している | 2.料金を下げてほしい |
| 3.料金を上げてほしい | 4.その他（具体的に) |

問9 開催頻度について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください

- | | |
|--------------|--------------|
| 1.満足している | 2.開催を増やしてほしい |
| 3.開催を減らしてほしい | 4.その他（具体的に) |

問10 あなたとお子さんとのふだんの生活についてお伺いします。それぞれの項目について、もっとも近いもの一つに○をつけてください。

	ほぼ毎日	週に 3~4 回	週に 1~2 回	月に 1~3 回	めったに ない
お子さんと遊ぶ（趣味・スポーツ・ゲームなど）機会	1	2	3	4	5
お子さんに知識や技能（勉強や料理など）を教える機会	1	2	3	4	5
お子さんと同じくらいの年齢の子どもを持つ友人や親戚と訪問しあう頻度	1	2	3	4	5
お父さん（または父親代わりとなる人）の育児に参加する頻度	1	2	3	4	5
お子さんが両親（または母親、父親代わりとなる人）と一緒に食卓を囲んで食べる機会	1	2	3	4	5

問 11 あなたを含めて何人でお住まいですか？同居されている方の人数をお答えください。

人

問 12 子ども食堂に来る目的として、それぞれの項目について一番近いもの1つに○をつけてください

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
家事を休む事ができるため	1	2	3	4
食事が安価で取れるため	1	2	3	4
子どもと過ごす時間にできるため	1	2	3	4
ママ友など子育てをしている人との 交流ができるため	1	2	3	4
子どもの成長につながるため	1	2	3	4

ご協力ありがとうございました。

《アンケートのご提出に関しまして》

- ◆アンケートをご記入いただいた後、受付にお渡しください。
(ご自宅に持ち帰っていただき、次回以降お持ちいただいても結構です)
- ◆郵送でのご提出をご希望の方は受付にて封筒をお受け取りいただき、ポストへの投函をお願いいたします。

子ども食堂に来ているみなさまへアンケートのおねがい

ちゅうきょうだいがく げんだいしゃかいがくぶ
中京大学 現代社会学部

そん ねんいちどう
成ゼミ 3年一同

この調査の目的は、どんな人が子ども食堂に来ているのかを知るためのものです。

名前をかくことはないので、だれが書いたものか明らかになることはありません。

1. まず、あなたのことについて教えてください。

問1) 年齢 () 才

問2) 学年 小学校 () 年生 中学校 () 年生

問3) 学区 () 小学校学区

2. 次に子ども食堂についての質問をします。

問1) どのくらい子ども食堂にきていますか？あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. ほとんど毎回来ている
2. 2ヶ月に1回
3. 3ヶ月に1回くらい
4. 半年に1回くらい
5. 1年に1回くらい
6. 今回が初めて
7. その他 ()

→うらへ

問2) どんなきっかけで子ども食堂にきました

か? あてはまるものすべてに○をつけてく

ださい。

1. チラシやポスター
2. 新聞・テレビなど
3. 友だちの紹介
4. 見かけた
5. その他(具体的に)

問3) 子ども食堂の好きなところはどこですか?

あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. おいしいごはんが食べられるところ
2. 友だちに会えるところ
3. スタッフの人と遊んだり、おしゃべりができるところ
4. 料理のお手伝いができるところ
5. その他(具体的に)

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。